

プロジェクトマネージャー: 増井 俊之 PM (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

1. プロジェクト全体の概要

あらゆる人々がパソコンや携帯電話を利用するようになり、世界中の計算機がインターネットで接続される時代になってきている。この結果、世界中の人間や情報が計算機とネットワークを介してリアルタイムに通信可能になっている。

誰もが世界の裏側の情報をリアルタイムに利用したり国家指導者とダイレクトにメッセージ交換したりできるようになったことは人類の歴史において空前絶後の出来事であるが、インパクトの大きさに人間の考え方がまだ追いついていないように感じられる。現在のほとんどの社会システムは計算機技術による革命的变化より前に作られたものであり、人間社会にとって最適なものといえなくなってきている。切符を買わなくても電車に乗れるようになったり、封筒を投函しなくてもメッセージを送れるようになったり、計算機技術によって徐々に社会は変化しつつあるがまだまだ充分ではない。

従来のやり方に慣れた旧人類にとって現状と異なるシステムを考えることは難しいし、新しいシステムを受け入れることに抵抗を示すかもしれないが、計算機技術とともに生まれ育った若者にとっては現在の技術レベルと社会システムの乖離がはなはだしいと感じられているだろう。

新しい計算機技術の活用によって人間生活や社会を大きく変える可能性を感じるような斬新な提案を採択した。

2. プロジェクト採択時の評価(全体)

上記のような期待をこめて今回は3件の提案を採択した。人間生活や社会を本当に大きく変えられる提案ではなかったが、普通のユーザが計算機やネットワークをより活用できるようにする面白い工夫の提案であり、うまく実装ができればすぐに広く活用してもらえるという期待があった。

3. プロジェクト終了時の評価

3プロジェクトともに、ほぼ当初の目標に近いシステムを構築することができた。完成度の点では、本当に多くのユーザに使われるようになったものから実験的プロトタイプが構築できたものまでレベルの違いがあったが、誰もが楽しく計算機やネットワークを利用するための新しい試みを実験できたことは評価できる。